

### 北馬城まちづくり協議会総会

### 及び講演会を5月20日開催

北馬城まちづくり協議会総会及び講演会を下記の通り開催しますので多くの方の出席をお願いします。なお、参加者には粗品を差し上げます。

1. 総会 (1) 日時：5月20日(日) 9時～11時  
(2) 場所：北馬城小学校
2. 講演会 (1) 日時：5月20日(日) 11時～12時半  
(2) 場所：北馬城小学校  
(3) 講師：大分県庁ラグビーワールドカップ推進室  
室長 中村 剛士先生  
(4) 演題：『まちづくりに思うこと』(仮題)



### 2年目を迎えて 後藤会長挨拶

### 『北馬城まちづくり』の認知度は高まったか

北馬城地区まちづくり協議会は発足してから早いもので、やがて1年を迎えようとしている。1年前の平成28年5月18日の市役所で宇佐市長と北馬城地区まちづくり協議会が「地域コミュニティ推進事業に関する協働協定書」に調印したのは、昨日のような気がする。

それから1年が過ぎようとしており、協定書の趣旨、目的に唄っている「地域資源を生かした住み良いまちづくりの推進」という所期の成果に結びついた活動ができたかどうかは、自信がない。しかし、まちづくりの役員らの知恵と行動力に支えられて、曲りなりも今日まで活動してきた。

この1年、印象に残った活動、取組を例示しながら今後の課題に触れてみたい。まず、北馬城地区まちづくり協議会は幸先よくスタートを切った。平成28年5月22日の午前中に協議会総会を開催し、みんな一人一人がまちづくりを他人事と考えないで楽しく、誇れるまち「北馬城」創りに取り組むことを採択した。午後は岩根修司副会長のアイデアによって、JR宇佐駅で熊本・大分地震の復興を願い、被災者へ寄せ書きを書いてもらう大絵馬と募金箱等を設置し、JR利用者等に呼びかけた。また、北馬城小学校の生徒もこのイベントに参加して大絵馬にエールを書くなど場を盛上げてくれた。翌日の新聞(大分合同、西日本新聞)に「北馬城地区まちづくり協議会」の名が報道され、存在感をアピールできた。

また、同年11月13日に開催した親睦集落対抗ソフトボール大会は圧巻であった。ソフト会場の設備、特に臨時のバックネット設置、ライン引き、そして懇談会会場の小道具の設置に心魂を傾け、頑張ってくれた久保副会長の奉仕の気持ちには、頭が下がった。一方肝心のソフトチームは各集落とも青壮年層が中心になったチーム編成ができ、予想以上の参加チームが勢揃いして好試合を展開した。試合終了後の懇談会もお互いに打ち解け、話が弾み、北馬城は一つという意識が宿った。残念だったのは当日集落の行事で参加できなかった日足、西屋敷が欠場したことは寂しかった。初の試みであった同年9月11日に映写会も成功裏に終わった。当日上映した映画は「永遠の0」で観客は81人集まり、まずまずの入りであった。その時、次回開催の要望を多く寄せられ意を強くした。他にも、いろいろ取組んだがまちづくりは「まち」を「つくる」活動であって、ハードとソフトを有機的に組合せて取組むことである。それには一人一人にまちづくりを認知してもらわなければ光明を見出すことは難しい。

これからもまちづくり活動、イベントの参加者を増やす工夫を重ね、「北馬城地区まちづくり協議会」の認知度をさらに高めていきたい。

# 平成29年度北馬城地区区長紹介

新年度を迎え新しく区長が交代した地区(7地区)がありますので紹介します。(敬称略)

自治区名	氏名	自治区名	氏名	自治区名	氏名
山	長野敏光	両戒	金石正治	江熊	長野通徳
西屋敷	河野文利	金丸	奥野卓二	出光	高月久富
岩崎	長野義徳	和気	久保繫樹	橋津	西 昭臣
日足	永松徳章	農技センター	中山由美子		

※太文字は新区長

## 新区長会長奥野会長挨拶

### 北馬城地区区長会を代表して

新緑が鮮やかになり、寒さから解放され過ごしやすい季節になりました。そのような中、北馬城地区の区長会を長年にわたり、お世話をしていただいた後藤区長会長が退任され、その後任として会長の職務を遂行することになりました。

各地区の区長の方々をはじめ校区の皆様には是非、御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

前会長の後藤様には橋津地区はもちろん校区住民の生活及び環境の改善に御尽力いただき誠にありがとうございました。特に、小学校の建設、農業法人の立ち上げ、まちづくり協議会の設立等は今後も北馬城地区の大きな財産として受け継ぎ守らなければなりません。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、まちづくり協議会も組織として徐々に軌道に乗っていますが、十分な展望が描ける段階には至ってないと認識しています。北馬城地区住民の生活を豊かにするために知恵を出し合い、協議会から地域へと話題を広げていく必要があります。「そんなはできない」「それは無理」等の否定は禁句。「できる」「やってみよう」の期待こそが大きな力であり、その意思のあるところには必ず達成があるものです。まちづくりの重点は、皆さんの共通認識「過疎化」です。北馬城にも「道の駅」ができる予定とも聞いています。実現すれば一つの拠点になります。是非、皆さんと共に知恵を出し合い、少しでも明るい見通しの持てるものになりたいと思います。北馬城区長会としても、まちづくり協議会としっかり連携した取り組みをしていきたいと思っています。ともに頑張りましょう。



## 北馬城地区「おせったい」16日と21日

北馬城地区住民の伝統の行事「おせったい」が4月16日と21日にあった。本来は空海の入定日の21日であったが、少子高齢化の影響か、「おせったい」が日曜日の16日と本来の21日に分かれて実施された。子供たちは2度の「おせったい」を受けられてよかったが、座元は高齢化し、後継者不在で座元ができない状況が続いている。伝統的なおもてなし「おせったい」を後世まで伝えるにはこの課題をクリアする必要があります。協力をお願いします。



### お知らせ

1. ふるさと応援寄付金は32件、64万円。ありがとうございました。
2. ホームページ「北馬城まちづくり協議会」

<https://www.kitamakitikumatidukurikyougikai.com/>